

春の県高校野球中止

福井・高野連 休校要請受け判断

福井県高野連は3日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、5月への延期を決めていた春の北信越地区高校野球県大会を中止すると発表しました。県高野連によると春、秋を通じ北信越地区県大会の中止は初めて。

「選手のことを考え、ぎりぎりまで開催する道を探ったが断念した。理解をいただきたい」と話した。各高の監督や選手は中止決定に理解を示しながらも無念さを口にした。昨秋の県大会3位で北信越大会に進んだ北陸の林孝臣監督は「選手たちは昨秋に監督となったばかりの私に一生懸命ついてきてくれた。晴れ舞台で戦わせてや

りたかった」。今春開校する武生商工の商業系1年生との合同チームを率いる野口大輔・武生商監督も「休校中もくじけずに自主練習を頑張ってきたので活躍が楽しみだった」と話した。福井市内の県立高の主将は「応援してくれる人に冬場の成長の成果を見せたかった。気持ちを切り替え、できることをやりたい」と前を向

いた。春の県大会は、上位4校が夏の全国選手権福井大会のシード権を得る。1年生を加えた新チームの実力を試す場でもあり、甲子園を懸けた戦いにも重要な意味を持っている。夏の福井大会にシード校を設けるかどうかも含め、今後検討する。

春の県大会上位2校が北信越大会(6月6日〜長野)に進む予定だったが、現時点で開催可否は決まっていない。春季大会を巡っては、東京や大阪、神奈川、埼玉など各地で中止が決まっており、北信越地区では新潟県が3日、県大会を中止する方針を固めた。

(宮崎翔央、高村友基)